

いつ起こるかわからない大地震！

あなたやあなたの家族はだいじょうぶですか？



自分達のまちは、自分達で守ろう！

災害から命・財産・わが家を

守るための地域の力「自主防災会」

大災害が発生したら、私達の住む地域はどうなるでしょう。建物が倒壊し、火災が発生し、道路が損壊し、多数の負傷者も出るでしょう。水道は出るでしょうか？

電気はつくでしょうか？

市内各所で多発する被害に対して防災機関が充分対処できないことも考えておかなければなりません。地域には高齢者や傷病者、乳幼児など、災害弱者と呼ばれる災害に弱い立場にたたざるをえない人々が大勢います。

阪神・淡路大地震は記憶に新しいところです。大災害はいつやってくるかわかりません。

救助活動や消火活動を各個人で行おうとしても、個人の力には限界があり、かえって危険な場合があります。自主防災組織の目的は、災害発生時に被害の拡大を防ぎ、付近の人達を避難誘導するなどといった確かな初期活動にあります。いざというときは、地域の住民による防災活動が大変重要になってきます。

「自分達のまち、自分達の家族は、自分達で守る」という意識を持ち、防災訓練などは積極的に参加し、地域ぐるみで防災活動に取り組んでいきましょう。

また、避難場所を確認し、家族との連絡方法、非常時に持ち出す物を準備しておくなど、日頃から地震や災害に備えておきましょう。